

ART EDUCATION WORKS

2009 - 2021

01 | ねぶた造形



「細越の龍神」 本体・原画

ねぶた 4000×3000×h2000 (土台含めず)

2009 協同制作 (制作指揮)

高校2年時 部活動

02 | ねぶた造形・電球の違いによる見え方の研究



左：電球型蛍光灯（昼白色・電球色混合）
40W 相当を使用

右：電球色
40W を使用

■結論として、完成した場合、彩色の強弱もあるため、ねぶたとしての差異は見られなかった。電球型蛍光灯は一方における輝度が目立つ傾向にある。（当時はLED電球は普及していない。）これは全方向型LED照明等で現在ではカバーできると思われる。

「連獅子」

ねぶた 2000×1200×h1500（土台含めず）

2009 協同制作（制作指揮）

高校3時 卒業制作

03 | ねぶた造形（師匠のねぶた制作の一部を作成）



「阿倍比羅夫 津軽深浦に立つ」

ねぶた 3000×1500×h2000（土台含めず）

2010 竹浪比呂央 制作補助

研究所所属2012 竹浪比呂央 制作補助

大学1年時 研究所所属（弟子入り期間）役所からの制作依頼

04 | ねぶた造形・ディスプレイ装飾



「七夕 彦星・織姫」

ねぶた 350×200×h500 ×2

2010 自主制作

大学1年時 大学生協より制作依頼 大学内レストランに設置

05 | ねぶた造形



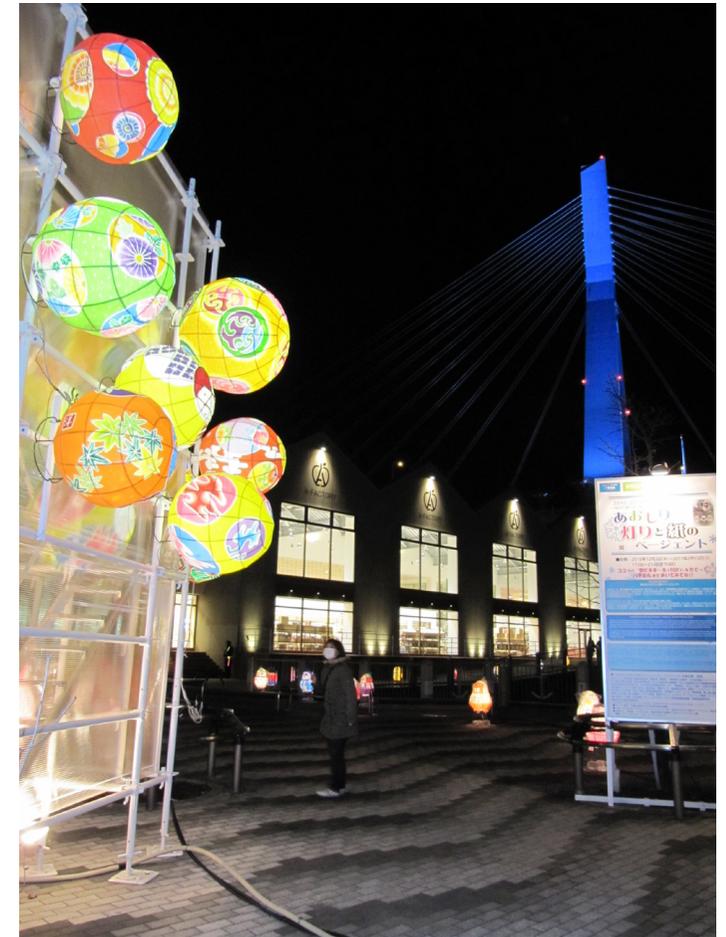
「雷神」

ねぶた 2000×1500×h1800 (土台含めず)

2010 自主制作

大学1年時 市役所より制作依頼 観光施設と商業ビルロビーに展示

06 | ねぶた造形・空間におけるインスタレーション



ねぶたの技法でつくられた色彩豊かな和紙のオブジェと、市民手作りの小型オブジェ「雪だるま〜る」がベイエリアを彩る灯りと紙のイルミネーションイベントです。モノトーンの雪景色の中に、紙と光がおりなす陰影と鮮やかな色彩のコントラストが、幻想的な世界をつくりあげて、光の導線があなたを導きます。（市役所広報）

「あおもり灯りと紙のページェント・雪だるま〜る」

灯 1000の球体 雪だるま型のねぶた（市民制作）

2010 研究所への制作依頼 市民への制作指導（ワークショップ）

大学1年時 研究所所属（弟子入り期間）

07 | ねぶた造形



「見雷也」

ねぶた 2000×1500×h1800 (土台含めず)

2011 自主制作

大学2年時 市役所より制作依頼 観光施設に展示

08 | ねぶた造形



青森空港で披露

「鍾馗」

ねぶた 2000×1500×h1800 (土台含めず)

2012 自主制作

大学3年時 市役所より制作依頼 青森空港ロビーに展示

09 | ねぶた造形



手や足など各種パーツをメインに担当、全体的な作業補助

「山幸彦と鯛」

ねぶた 2000×1200×h2000 (土台含めず)

2012 竹浪比呂央 制作補助

大学3年時 研究所所属 (弟子入り期間)

長野県からの依頼制作

10 | ねぶた造形



初めて、大型ねぶたの大切なパーツの制作に携わる

「羅漢」

青森ねぶた祭 大型ねぶた 9000×5000×h4500（土台含めず）
2012 竹浪比呂央 制作補助 主要部品である手や足の骨組みを任せられた。
大学3年時 研究所所属（弟子入り期間）

11 | ねぶた造形・出前授業（高校にて技術指導）



大学の研究では、ねぶたを活かしたカリキュラムの開発、及び教材の開発をテーマにした。その研究の一貫として、高校にてねぶた制作の授業を計画実施。企画を当学校と打ち合わせのもと、決定をし、実践ができた。



「ミニ担ぎねぶたの教材化（テーマ：ゆるキャラ制作）」

ねぶた 約1200×1000×h1800（土台含めず）

2013 教材研究・授業計画

大学4年時 研究

12 | ねぶた造形・教育



「甲斐の虎 信玄」

ねぶた 2500×1500×h1800 (土台含めず)

2014 制作指導・協同制作

高校教員 部活動ねぶた制作指導

地域の商店街の依頼を受け、小型のねぶたを制作。(色あせなどの問題に) 長く使用できるように、着色料の工夫を用いたり、使用する和紙の種類の変更をした。

13 | ねぶた造形・教育



「電気科 文化祭の光のゲート」

ねぶた 3000×1000×h3000（組み立て式）

2014 制作指導・協同制作

高校教員 卒業制作の指導

電気科は、工業高校の広い施設内の一番遠い、4Fの奥にある。そのため、文化祭では例年、人出がやってこないという問題にテーマを当てた。地元のねぶたを用い、電気科らしく、モーターの制御により、動くねぶたを制作をすることにした。鬼の面がゆっくりと動く仕組みになっている。

14 | ねぶた造形・街のアートプロジェクト

アートで音楽のあるまちづくりイベント「A-Paradise」
「ものづくり体験プレワークショップ」

ねぶたの技法を用いた 灯籠づくりワークショップ

日 時 9月5日(土) 10:00～15:00
場 所 市役所柳川庁舎2階 講堂
対 象 市内中学生

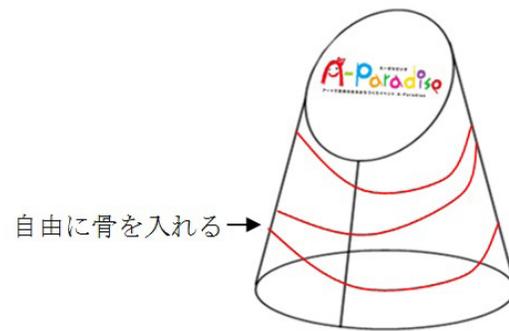
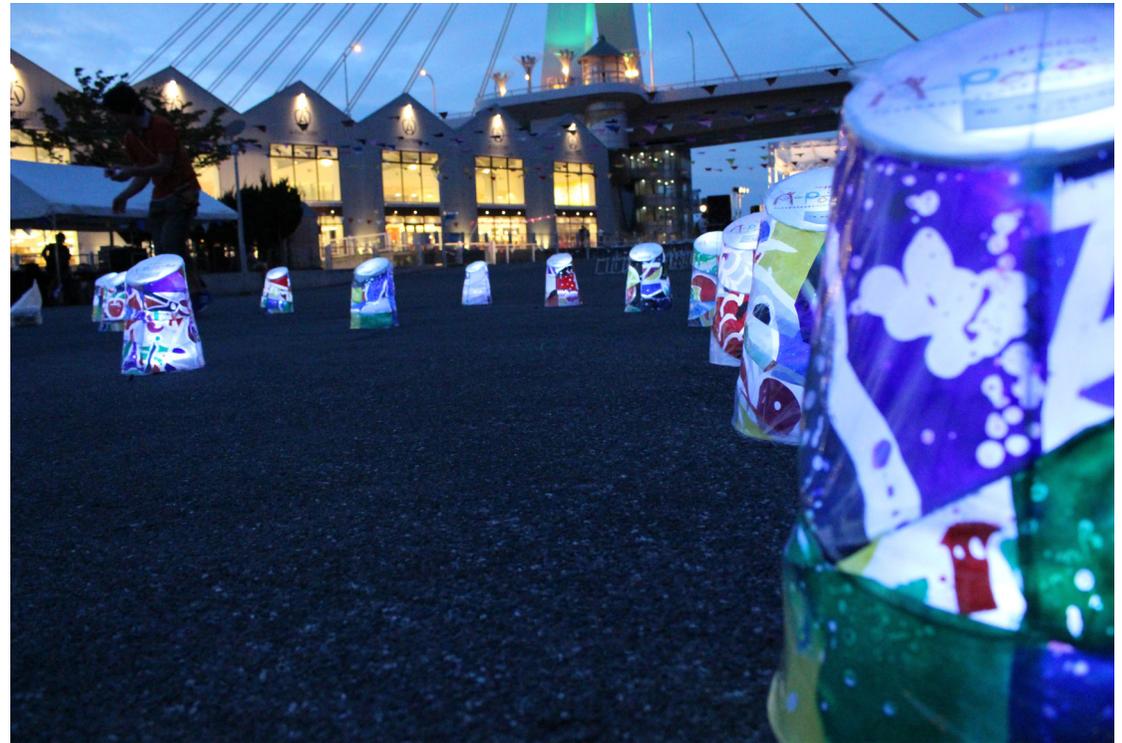
山内 勇輝 氏 (竹浪比呂央ねぶた研究所 研究生 (弟子))
2007年から、ねぶた師竹浪比呂央氏に師事。
現在、竹浪比呂央ねぶた研究所 研究生 (弟子) として修行中。
青森市主催のミニねぶた展のねぶた制作、ニコニコ通りのねぶたの制作、指導などを行っている。
また、弘前大学ねぶた・おぶたと学校教育研究プロジェクト (本研究団体は現在終了している) にて「ねぶた・ねぶたの与える影響を研究課題にし、こどもや運行団体の意識調査、カリキュラム開発等を進めている。小学校、高校、特
定支援学校にて、ねぶたの出前授業やワークショップを実施しており、今回のものづくりワークショップでは、ねぶたの技法を用いた灯籠作り」と題し、本来のねぶた制作工程とは異なるが、ねぶた制作の基本的な作業内容は全て
できるようなワークショップを市内中学生を対象に実施した。

イベント当日掲示された紹介ボードを掲載

「【A-Paradise】アートで音楽のあるまちづくりイベント」

灯造形 350×350×h500

2015 青森市 (文化スポーツ振興課) より企画依頼・ワークショップ講師
作家として活動



自由に骨を入れる →



小学生や中学生を対象に、骨組みから制作をし、自由な発想で彩色を簡単に楽しく、行えるように。 試作品を何パターンかデザインを研究した。

15 | ねぶた造形・舞台用ディスプレイ



成人式テーマ「再発見」ということから、役所の方と協議の上、サイをモチーフにした新しいキャラクターを含めたデザインにするという方針のもと、サイのゆるキャラと地元のゆるキャラを成人式らしい華やかなイメージでデザインを行った。

「成人式舞台演出のためのねぶた」

ねぶた 3000×1500×h1800（土台含めず）

2015 青森市（文化学習活動推進課）より制作依頼

作家として活動

16 | ねぶた造形・教育



中心に構えているのが、扇ねぶた。右側に壁にかけている灯は、障害を持つ子どもたちの一人一人のオリジナル作品である。金魚型のねぶたである。骨組み制作から、照明の配線の学習、紙貼り、色塗りという長い時間をかけ、ものづくりの大変さや達成感を体感させた。

「支援学級による、ねぶたの協働制作」

扇ねぶた 3000×3000×h2000（土台含め）

2016 学習指導（特別支援級 技術）

中学校教員 技術科

17 | ねぶた造形・灯のアートプロジェクト

青森市 アートで音楽のあるまち
“創造の場づくり” 支援事業～青い森のトボス～

What's the NEBUTA?

9/7(水)~14(水)
AM 10:00 ~ PM 7:00
(最終日はPM 6:00迄)
青森市新町1丁目 12-11 2F
(※入り口2F 中三県庁の通り)
“ねぶた”とは何なのか。
一度、真剣に考えてみませんか?
入場無料

青森ねぶたのアート性と伝統性を検証します。
実験的なねぶた作品(立体作品)とねぶた作品(平面作品)、
歴代の青森ねぶたの伝統性を考察した研究内容と資料集を展示予定。
(展示担当: 工藤 友哉)

同時開催 「ねぶたの模様を彩る ～青い祭～」
ねぶたに用いられる様々な模様・文様を、本格的に描くワークショップ。
模様型紙作り、和紙へのロウ書き、彩色をし、一枚のアートをつくります。

【日時】 9月10日(土) ①10:00～12:00 ②14:00～16:00
9月11日(日) ①10:00～12:00 ②14:00～16:00
【対象】 中学生・高校生(各時間6名まで)
【参加費】 1,000円

一枚のキャンパスに、あなたの青い祭をつくりあげませんか?
担当講師: 山内 勇輝

平成28年度アートでオン!パイロット事業
青森市アートで音楽のあるまち “創造の場づくり” 支援事業 ～青い森のトボス～

ARTIST PROFILE

KUDO TOMOYA
工藤 友哉

弘前大学大学院にて、青森ねぶたの造形について研究中。芸術学の視点から青森ねぶたにアプローチし、その伝統性、アート性、及び造形的分類について考察している。

【経歴】
1992年 青森県青森市生まれ
2015年 弘前大学教育学部 生涯教育課程 芸術文化専攻 卒業 (所有免許: 中高美術)
現在 弘前大学大学院 教育学研究科 教科教育専攻 美術教育専修 在学中
第六代ねぶた名人・北村 隆 ねぶた制作スタッフ

【教育・研究】
2015年 青森ねぶた祭 ミュージアム博覧会 同席
アートで音楽のあるまちづくりイベント「A:Paradise」ワークショップ講師
2016年 平成28年度青森市成人式 舞台ねぶた 制作
東北芸術文化学会 第69回定例会 口頭発表「青森ねぶたの造形的分類に関する一考察」

【その他】
弘前ねぶた見送り絵制作 / 弘前大学 OC ポスター制作 他

YAMAUCHI YUKI
山内 勇輝

弘前大学ねぶた・ねぶたと学校教育研究プロジェクトにて、「ねぶた・ねぶた」の身元の影響を研究課題にし、地域ねぶたの運行団体の意識調査、ねぶた・ねぶた制作を活かした、カリキュラム・教材開発を研究。過去に、小学校・中学校・工業高校・特別支援学校高等部にて、前授業やワークショップを実施。現在、勤務地の学校にてねぶた授業を実施している他、東京都立高校にてねぶた制作指導をしている。

【経歴】
1991年 青森県青森市生まれ
2014年 弘前大学教育学部 中学校教育専攻 卒業 (所有免許: 技術・美術・高校工業)
現在 神奈川県川崎市 中学校 教諭 / 竹造比呂央ねぶた研究所 制作スタッフ

【教育・研究】
2010-12年 青森市主催 ミニねぶた展 出展
2014年 青森県立青森工業高等学校 ねぶた制作指導
2015年 アートで音楽のあるまちづくりイベント「A:Paradise」ワークショップ講師
2016年 平成28年度青森市成人式 舞台ねぶた 制作

【その他】
青森市ニコニコ商店街ねぶた制作 / 東京青森 PR ねぶた制作指導 他

What's the NEBUTA?



「アートでオン!アートで音楽のあるまち”創造の場づくり”支援事業「ねぶたの模様を彩る～青い祭～」
 平面の彩色 B4サイズ 和紙
 2016 青森市(スポーツ振興公社) 事業への講師依頼
 中学校教員 技術科(作家としても活動)



「文化祭装飾として、ねぶたの協働制作①「不思議の国のアリス」」

ねぶた 2500×1500×h2500

2017 制作指導（文化祭実行委員会）

高校教諭 生活指導部行事担当（文化祭・生徒会主担当）

19 | ねぶた造形・教育



「文化祭装飾として、ねぶたの協働制作②「鳴神」」

ねぶた 2500×1500×h2500

2018 制作指導（文化祭実行委員会）

高校教諭 生活指導部行事担当（文化祭・生徒会主担当）

20 | ねぶた造形・教育



児童による原画のもと、教員へ技術指導を実施。また協同的に制作を行った。児童は、紙貼りと色塗りをメインとし、児童が制作に入る際にも、学習指導としてねぶたを伝えた。

「小学校への教員・児童へのねぶた指導」

ねぶた 1500×1800×h1800 (土台含めず)

2018 武蔵野市立第一小学校からの指導依頼

高校教諭



「文化祭装飾として、ねぶたの協働制作③「ゼウスと12星座 聖夜の浪漫」」

ねぶた 2500×1500×h2500

2019 制作指導（文化祭実行委員会）

高校教諭 生活指導部行事担当（文化祭・生徒会主担当）

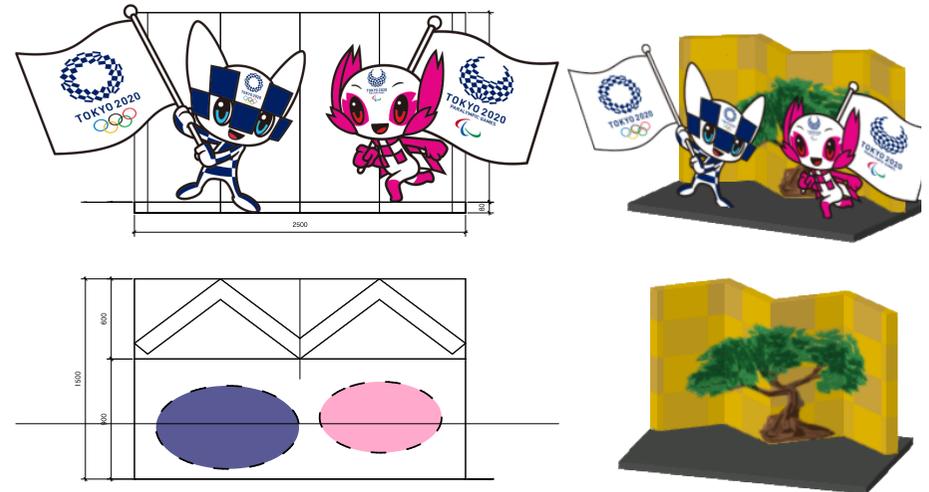
22 | ねぶた造形・教育



中野区役所に展示。その他オリパライベントなどで、各所で披露された。



東京オリンピック・パラリンピック PRねぶた



ねぶたとしての全体イメージのデザインを担当した。キャラクターのレイアウト含め背景のデザインと全体をCADで図面化した。

一般的に、ねぶたでは、図面化せずに、正面の原画のみで、立体化するものであるが、今回は、オリパラ公式のキャラクターということで、比率などの精密性が特に求められた。

「他校へねぶたの技術指導・オリパラねぶた制作依頼」

ねぶた 1500×1800×h1800 (土台含めず)

2019 東京都立六郷工科高等学校より指導依頼 (東京2020組織委員会との連携)

高校教諭

